

平成 26 年 1 月 27 日

名取市長 佐々木 一十郎 様

申出者 東京都杉並区和泉 2-17-5

公益財団法人オイスカ

理事長 中野 利弘



宮城県名取市下増田字北原東 493-2

名取市海岸林再生の会

会 長 鈴木 英二



名取地区海岸防災林再生に関する協定申し入れ書

名取市内の県有・市有・私有の海岸防災林において、「みやぎ海岸林再生みんなの森林づくり活動」に参画し、同活動の趣旨と目標達成に向かって活動いたしたく、協定申し入れをさせていただきます。

なお、申請にあたり、平成 26 年 1 月 21 日付け「みやぎ海岸林再生みんなの森林づくり活動」実施要領第 4 に記載された実施主体の資格要件に該当する団体であること及び、申請書の記載内容は事実と相違ないことを誓約します。また、活動に際しては申請者の指揮・監督の下において行うものとし、活動参加者の事故等については申請者において一切の責任を負うことを誓約します。

記

1 実施主体（申し出者）

名取市海岸林再生の会

〒981-1201 宮城県名取市下増田字北原東 493-2 会長 鈴木英二

担当：事務局長 佐々木廣一 Tel:022-395-7811 Fax:022-395-7817

E-mail: natori.jm.nol.oisca@abelia.ocn.ne.jp

公益財団法人オイスカ

〒168-0063 東京都杉並区和泉 2-17-5 理事長 中野利弘

担当：啓発普及部課長 吉田俊通 Tel:03-3322-5161 Fax:03-3324-7111

E-mail: t\_yoshida@oisca.org URL: Http://www.oisca.org/kaiganrin/

## 2 森林づくりの活動構想

公益財団法人オイスカおよび、名取市海岸林再生の会は、海岸林を農業・産業・生活を守る重要な「インフラ」と考え、地域住民・国内外の支援者、行政当局等とともに実施し、『名取市民の森』（仮称）として再生することを目標として、国や自治体等で策定される復興計画等に沿い、被災地住民等の雇用創出（平成23年～平成45年：11,146人と試算）を図りながら、100ha相当の海岸林・内陸防風林等の育苗（60万本以上）、植栽、下刈・除伐・つる切り等の保育を含む「海岸林再生プロジェクト10ヵ年計画」を実施します。

東日本大震災を受けて、平成23年3月17日にオイスカから皆川芳嗣林野庁長官（当時）に宛てて、海岸林の再生に関する協力の申し出を書面にて行いました。震災から2ヵ月後、避難所で初めて被災農業従事者等の皆さんと会った時、彼らの海岸林再生に賭ける思いに打たれました。それ以降、地元市民、国、県、市、林業事業体、数多の支援者と検討・協議を重ね、名取市の被災農業従事者等の農業技術を活かし、生計支援としての雇用の場の提供を念頭に、クロマツを主体とした苗木生産から取り組んでまいりました。

私どもは当初から一貫して「主役は地元」との思いで取り組んでおります。この度の大きな目標としては、将来にわたって、地域社会によって森林保全活動が持続され、『名取市民の森』（仮称）として、市民に親しまれる海岸林となるための基礎づくりや、海岸林の存在意義が多くの国民に理解されるための啓発活動を行っていかうと考えております。

<希望面積> 名取市内海岸林及び内陸防風林県有林・市有林・私有林（林班66・67・68・69）  
約100ha

<植栽> 樹種：マツ9割（マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ・アカマツ、精鋭樹クロマツ）  
広葉樹1割以下（クリ・コナラ・ヤマザクラ等）

実施希望面積に植栽する苗木本数：約50万本

苗木の調達：①名取市内で自ら育成した苗木、②種苗組合を通じて購入

<補植> 植栽木が枯れた場合は補植を実施します。

<下刈> 植栽後5年間、年1～2回実施します。

<林内巡視> 毎月行います。

### <その他の活動内容>

契約を5年ごとに延長し、植栽8年後から除伐・つる切りを実施（～2033年・H45）。その終了までの間に11,400人を超える雇用を創出するものと試算しており、そのための原資として、震災から10年を迎える2020年（H32）までに10億円の民間からの募金活動を実施します。2021年からは「名取市海岸林再生の会」を、『名取市海岸林を守る会』と名称変更し、全国の海岸林の好事例に倣い、アダプト方式による長期的な維持保全活動を定着させます。

また、年間1,000人（H24実績）を超える現場視察、育苗・植栽・下刈等作業補助ボランティア受入、年間5,000人（H24実績）を超える対象者に海岸林再生に関する報告会・講演会や、写真展などの啓発普及活動などを行い、会計報告を含む活動報告をこれまで通り全てホームページで公開・更新します。

平成26年（4～5月、9～10月）：出荷・植栽・補植等（6～8月）：下刈等

（2月）：定期活動報告会（於：名取市文化会館）（通年）：育苗・啓発普及活動

平成27年（4～5月、9～10月）：出荷・植栽・補植等（6～8月）：下刈等

（2月）：定期活動報告会（於：名取市文化会館）（通年）：育苗・啓発普及活動

### 3 森林づくりの進め方

- ・国・県・市の復興計画に沿って立案した「海岸林再生プロジェクト10ヵ年計画」をもとに実施します。
- ・名取市を管区とする宮城中央森林組合と委託契約を締結し実施します。「名取市海岸林再生の会」会員等も森林組合の指導のもと、作業に加わります。
- ・苗木の供給に関しては、「名取市海岸林再生の会」が2011年度から宮城県農林種苗農業協同組合に3名加盟し、名取市海岸林全域の再生に必要な60万本以上（補植含む）を目標に育苗をしており、需給調整に関しては種苗組合を通じて行います。
- ・地元市民、全国の支援者、支援企業・団体従業員などのボランティアには、植栽・育林等に関しては森林組合の、育苗に関しては「名取市海岸林再生の会」の、そして計画全体に関してはオイスカの、それぞれの役割を補完する形で、また、海岸林再生の趣旨を深く理解いただく形で、積極的に参画を促す考えです。
- ・2033年（平成45年）までの育苗、植栽、育林、各種啓発活動などの全体経費は10億円と考えており、これまでと同様、民間寄附金及び民間助成金等からの捻出を予定しております。
- ・オイスカは現場代理人を常駐し、また、森林組合は「名取市海岸林再生の会」等が作業に加わる場合は、安全衛生講習・保険加入のうえで作業を行う予定です。
- ・オイスカ名取事務所（〒981-1201 名取市下増田字北原東493-2tel 022-395-7811）が現場安全管理を行います。
- ・作業補助にあたるボランティア、視察者にも安全指導を怠らず、ボランティア保険もかけます。

### 4 森林づくりの活動実績等

#### ●名取市海岸林再生の会

設立：平成24年2月29日 会員数：名取市下増田字杉ヶ袋地区・北釜地区農家等33人

#### ●公益財団法人オイスカ

設立：昭和36年10月6日 会員数：5,000件（全国15支部）

【海外：昭和55年（1980年）以降、アジア・太平洋諸国など32ヵ国 累計約17,391ha】

水源地・マングローブ・沙漠化防止・「子供の森」計画（学校林）4,601校（4,046ha）。

【国内：1994年以降 21県・66ヵ所 636.69ha】

北海道/当別町・穂別町他

（6ヵ所・約25ha、1997年～、道民の森整備/植栽・下刈・シカ害対策等）

青森県/十和田市

（1ヵ所、約6ha、2009年～、県立三本木高校附属中学校「遊々の森」への支援）

宮城/仙台市・松島町

（4ヵ所・約8ha、平成21年～、竹林、学校林2校/皆伐・植栽・下刈・材利用）

栃木県/黒磯市（1ヵ所、約1ha 1994～1998年、私有林/植栽・下刈）

東京/八王子市・江東区

（3ヵ所、約3ha、平成15年～、学校林1校、八王子市有林、都「海の森」へ参加協力/皆伐・植栽・下刈・間伐）

埼玉県/寄居町・毛呂山町

（2ヵ所、約14ha、平成21年～、企業の森2ヵ所/植栽・下刈・間伐）

神奈川県/横浜市・相模原市・清川村

（5ヵ所、約32ha、平成16年～、県森林パートナー事業参画、学校林2校）

山梨県/上野原市・甲州市・大月市・甲府市・増穂町・早川町・丹波山・小菅町

(19カ所、約193ha、平成15年～、遊々の森3校・学校林6校・企業の森10カ所/ 植栽・下刈・間伐・シカ対策・木材利用)

山梨県/鳴沢村 「富士山の森づくり」

(約140ha、平成19年～現在、県有林/ 植栽・下刈・シカ害対策)

山梨県/甲州市 「オルビスの森」

(約108ha、平成25年～ 間伐・植栽・下刈、木材利用)

静岡県/静岡市・清水市

(2カ所、約6ha、平成21年～、竹林整備、学校林1校/ 植栽・下刈・間伐)

長野県/富士見市

(約2ha、平成21年～、学校林1校/ 植栽・下刈)

富山県/富山市

(3カ所、約3.5ha、平成21年～、遊々の森1校・学校林1校/ 植栽・下刈・間伐)

愛知県/豊田市・設楽町

(4カ所、約11ha、平成21年～、学校林2校・町有林/ 間伐・植栽・下刈)

岐阜県/岐阜市・白川町

(2カ所、約8ha、平成21年～、学校林2校・町有林/ 間伐・植栽・下刈)

大阪府/四条畷市・豊能町

(2カ所、約9ha、平成21年～、企業の森2件・学校林1校・ / 間伐・植栽・下刈)

兵庫県/神戸市 (約4ha、平成21年～、学校林1校/ 間伐)

香川県/まんのう町・直島 (2カ所、約5ha、平成19年～、植栽・下刈・間伐)

愛媛県/松山市 (2カ所、約1ha、平成21年～、竹林整備・植栽・下刈)

広島県/北広島市 (約0.5ha、平成21年～、間伐・下刈)

福岡県/朝倉市 (約58ha、平成21年～、植栽・下刈・間伐)

鹿児島県/鹿児島市 (約1ha、平成21年～、植栽・下刈)

沖縄県/伊是名島 (約0.5ha、平成19年、植栽・下刈)

## 5 苗木等の調達方法

<調達先> : 宮城県農林種苗農業協同組合、名取市海岸林再生の会

<樹種> : マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ・マツノザイセンチュウ抵抗性アカマツ、  
精鋭樹クロマツ (以上9割)

広葉樹 (1割以下) クリ、ヤマザクラ、ケヤキ、コナラ等

<資機材の確保> : 購入・借用

<労働力の確保> :

- ・面積が広いため、宮城中央森林組合の作業班・請負班を中心に編成し、平日を中心に実施。
- ・ボランティアなどは指導者を確保した上で、プロを補完する形で導入する。

## 6 その他

- ・宮城県または市との係争等は一切ございません。

## 7 添付資料

- ・定款、役員名簿等は別紙に添付いたします。